

2023年1月～3月の「効果の上がる学習方法」を考える

- 一①入試と3大検定は「過去問10年分」、②学年末試験全教科100点満点を目指し「復習」「定着」、
③テストが終わったら、その日から「新年度1学期の予習と3大検定の準備」を一

開倫塾

塾長 林 明夫

Q1：開倫塾では、「効果の上がる学習方法」を指導すると聞いています。

A：(1)開倫塾では、創業以来、各教科の内容をわかりやすく指導すると同時に、「効果の上がる学習方法」を具体的にお伝えし、塾生の皆様の学力向上を図っています。

- (2)この「学習方法」は、小学校、中学校、高校だけでなく、大学、短期大学、専門学校、専修学校、大学院での学習に役立ちます。社会に出てから仕事や社会的活動をするうえでも、よく生きるうえでも役立ちます。一生役に立つ「学習方法」です。



- (3)ですから、どうか、開倫塾の塾生である間に、「効果の上がる学習方法」をしっかり身につけてくださいね。

Q2：「1月～3月に入学試験を控えた受験生」は、どのように勉強したらよいのですか。

A：「受験生としての自覚」をもって、「一心不乱」に、「眠る時間以外は受験勉強」をすることです。

- (1)「学校の授業がある日は、1日8時間」「学校の授業がない日は、1日12時間」、集中して、「一心不乱」に受験勉強をすることをおすすめします。
- (2)家で集中できない人は、開倫塾で、毎日、午後から夜10時30分(東京は夜10時)まで自学自習、受験勉強をすることを認めますので、どんどん行ってください。
- (3)ただし、おしゃべり、スマホ、居眠り、飲食は、禁止です。ひたすら、「一心不乱」に受験勉強に集中してください。



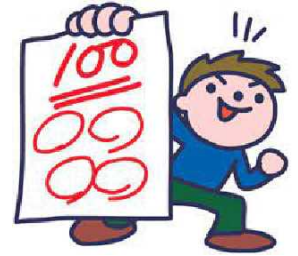
Q3：何を使って受験勉強をしたらよいのですか。

A：今使っている「教科書」「問題集」「教材」を、何回も繰り返し「学び直す」「解き直す」のが一番重要。

- (1)2回、3回、4回と、10回以上、同じ教材を繰り返し「学び直し」、全部覚える。



- (2)「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」をして、「スミからスミまで覚える」。
- (3)「過去問」は、「10年分」を毎週1～2年分ずつノートに解き、徹底研究。間違えた問題は、10回解き直す。
- 「3大検定」も、まったく同じです。



Q4：「学年末試験」は、どのように勉強したらよいのですか。

A：「学年末試験で、全教科100点満点を取る」と「決意」し、「今日」から、「全9教科の学校の教科書・問題集・教材などを、スミからスミまで理解し、覚える（定着させる）」ことに尽きます。

(1)「学年末試験」をはじめ、「学校の定期試験」は、「学校の教科書・問題集・教材・授業プリント・授業ノート」以外からは、出題されません。奇想天外な、難しい問題は出題されません。

(2)ただし、「学年末試験」は、全教科にわたって行われ、各教科とも「出題範囲」が広いいため、試験対策をするのに「時間がかかる」ことは、明らかです。

(3)2月に入ってから「学年末試験」の対策をしたのでは、間に合いません。どんなに遅くても、1月1日から「学年末試験」の勉強をする。できれば、12月中旬から2か月かけて「学年末試験」の準備をする。



○すべての試験について、「いつから受験勉強をしたらよいか」という難問があります。「定期試験」は「2か月前」から、「3大検定」は「6か月前」から、「入学試験」や「国家試験」は「1年前から」、「受験生としての自覚」をもって「本格的な受験勉強」をすることをおすすめします。

Q5：「受験生としての自覚」をもって何をするのですか。

A：(1)「効果の上がる学習方法」とは何かを考え、実行することが第一。

(2)「学習時間を確保すること」。つまり、「学校の授業や仕事がある日は、1日8時間学習」、「学校の授業や仕事のない日は、1日12時間学習」することが第二。



(3)「学ぶべき教材・テキスト・問題集」を決め、「まずは、1ページずつ、一語一語、うんなるほどとよくわかるまで徹底理解」。「理解できたページ」は、「音読練習」「書き取り練習」で「知識を定着」させることが第三。

○毎回、新しい内容に入る前に、それまでに学んだページを、1ページから「音読練習」。<これが、すべての勉強の極致>です。



Q6：学校や開倫塾の授業は、どのように受けたらよいのですか。

A：(1)先生の日や口元をしっかりと見て、一言も聞き漏らすことなく、しっかりと「理解」することに励んでください。

○大切なことは、すべて「ノートに取る」。「大切なことをノートに取れる」ことは、極

めて高い「言語能力」を示すものです。「授業中に取ったノート」は授業後、勉強しやすいように「ノート整理」をし、繰り返し「学び直す」ことをおすすめします。

(2) 授業後は、必ず「復習」し、「理解」を深めることです。

①「復習」とは、「教科書」「問題集」「教材」「授業プリント」「授業ノート」を机の上に置き、もう一度、ていねいに、勉強し直して「理解」を深めることです。



②「復習」していて、よくわからない「語句」が出てきたら、「辞書」「参考書」「インターネット」で調べ、「理解」を深める。「調べた内容」は、ノートに書き写し、すべて覚える。

③なぜそのような解答になるかがわからない「計算や問題」は、参考書で調べる。調べてもわからなければ、先生に質問し、「理解」を深める。

○「理解」を「深める」ことが、「復習」の「目的」です。



(3) ①「復習」して「理解」を深めたあとは、スラスラとよく読めるようになるまでひたすら「音読練習」をし、「暗唱(何も見ないで言うこと)」できるまでにする。

②「音読練習」をしながら、また、行ったあとに、「書き取り練習」をし、「暗記(何も見ないで書くこと)」できるまでにする。

③同じ「計算や問題」は、6回解き、見た瞬間に条件反射で正解が出るまでにする。

Q7：最後に一言どうぞ。

A : (1)「入学試験」「学年末試験」「3大検定」が終了したらどうするか。終了したその日から、新学年の「予習」と1学期に受ける「3大検定」の準備をスタート。4月末日までに完了することを目指しましょう。

(2) 開倫塾の「教育目標」は、「自己学習能力の育成」です。

開倫塾の塾生である間に、

①「自覚をもって学ぶ」

②「試験の前には、1日8時間、1日12時間、集中して学習する」

③「効果の上がる学習方法」を絶えず考えるなどの「学習習慣」を身に着け、「多様な選択肢のある人生を歩む」ことをお願いします。

(3) この文章を読み、「そうか、それでは、やってみよう」と自分の力で考え、決意を固めたら、その日から実行に移してくださいね。必ず素晴らしい結果が生まれます。

○では、がんばってください！

